

お手入れ方法

ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。

※本体はステンレス鋼を使用していますが、塩分や食物、油分などの付着によりサビる場合があります。

本体（内側・外側）、ふたキャップ

- 本体（内側・外側）、ご使用ごとにお湯または水で薄めた食器用洗剤を使用し、柔らかいスポンジ・ブラシなどできれいに汚れを洗い落とす後、よくすすぎ十分に乾燥させてください。
 - ふたキャップは丸洗いでできます。柔らかいスポンジ・ブラシなどできれいに洗い汚れを落とす後、よくすすぎ十分に乾燥させてください。
- ※ 本体（内側）、ふたキャップの汚れが落ちない場合には、酸素系漂白剤をご使用ください。
（濃度5%、時間30分が目安）その際、ふたキャップを閉めずにおこなってください。

パッキン

パッキンをふたキャップから取りはずし、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。

△お手入れ上の注意

- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。
- ふたキャップを本体にセットしたままお手入れしないでください。
お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態でおこなってください。
- 本体やふたキャップの煮沸、および食器洗浄機や食器乾燥機などは使用しないでください。
水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。
- シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾などは使用しないでください。
キズやサビ、破損の原因となります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
サビ、破損の原因となります。
- 本体、ふたキャップの湿け置き洗いはしないでください。
- においが気になる場合は、ぬるま湯に食酢（濃度10%）を加え、その中ですすぎ洗いをしてください。
- 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。

5

赤い斑点・ザラザラが付着した場合

ポットの内側にサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には...

サビのような赤い斑点ができた場合

水分に含まれる鉄などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置したあと、柔らかいスポンジ・ブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

ザラザラしたものが付着した場合

水分に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、ふたキャップを取り付けず、3時間程放置したあとに柔らかいスポンジ・ブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

材料の種類	品質表示			
内 び ん	ステンレス鋼	品 名	ステンレス製弁当魔法瓶	
胴 部	ステンレス鋼（アクリル樹脂塗装）	品 番	ARFP-301	ARFP-351 ARFP-541
口 金	ステンレス鋼	実 容 量	0.3L	0.35L 0.54L
ふたキャップ	ポリプロピレン	保温効力(6時間)	58℃以上	61℃以上 68℃以上
飲み口カバー	シリコーンゴム	保冷効力(6時間)	9℃以下	9℃以下 8℃以下
パッキン	シリコーンゴム	MADE IN CHINA		

* 保温効力は室温20℃±2℃において製品に熱湯をふたキャップの下端まで入れ、湯温が95℃±1℃になったとき、ふたキャップをして数置きにした状態で6時間放置した場合におけるその湯の温度です。

* 保冷効力は室温20℃±2℃において製品に冷水をふたキャップの下端まで入れ、水温が4℃±1℃になったとき、ふたキャップをして数置きにした状態で6時間放置した場合におけるその水の温度です。

* 実容量とは、ふたキャップまでの全容量です。ご使用の際は取扱説明書をご確認のうえ、適切な量を入れてご使用ください。

- 部品は消耗品です。1年を目安に傷、損傷などが無いかを確認し不具合がある場合は使用をやめ、部品交換してください。

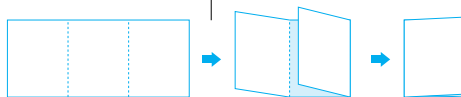
表示者 株式会社アトラス

〒192-0046 東京都八王子市明神町4-7-15 落合ビル2F
<https://www.atlas-scm.jp/>

交換部品のご購入はこちらから
アトラスオンラインショップ
<https://www.atlasonline.jp>

お問い合わせ TEL.042-660-8870
受付時間 / 9:00~18:00
月～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お問い合わせの販売店までご連絡ください。



新規

'25.09.25

松井

共通取扱説明書

ARFPシリーズ

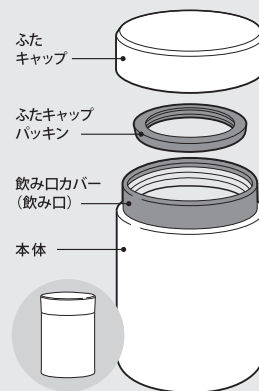
このたびは、当社のステンレスフードポットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前にこの説明書を最後まで必ずお読みになり、正しく安全にご使用いただけますようお願いいたします。また、本書は万一ご使用中にわからなくなったとき、お役に立ちますので、いつでも見れるところに大切に保管してください。

ご使用前に

- はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み、ふたキャップのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 底面の製造ロットシールは、はがさないでください。
- はじめてご使用になるときは、本体（内側）ふたキャップを食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。

※ 説明中のイラストは実際のものと異なる場合があります。また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

●各部のなまえ



1

超軽量フードポット
ARFP-301/351/541
取扱説明書 “表面” 版下

w245×h95mm
色：1C
'25.09.25

△ ご使用上の注意

- 注意**
- お子様だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しないでください。やけどの原因となります。
 - 飲食物の保温・保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。

- 熱い飲食物を入れた場合、次の点を必ずお守りください。
 - 断熱効果により、熱い飲食物を入れても外側は熱くなりませんが、飲食物は熱いので注意してご使用ください。
 - 傾けた状態、または顔を近づけた状態でふたキャップを開けないでください。内圧が上がり、飲食物が急激に出たり、飛散したりしてやけどの原因になります。
 - 直接飲む場合は、急に傾けたりせず ゆっくりと傾けながら飲んでください。また、スプーン等ですくいながら食べてください。急に傾けると、飲食物が勢いよく出てやけどなどの原因になります。
 - 絶対に振らないでください。飲食物が噴き出すことがあります。
- 熱い(冷たい)飲食物を入れてください。飲食物は30～45℃程度が最も腐敗しやすい温度です。
- 飲食物の量は、取扱説明書4ページの2の図を参考にしてください。入れすぎるとふたキャップが開かなくなったり、閉めた時に飲食物が溢れ出す原因になります。また、使用中に濡れ、やけどやものを汚す原因になります。
- 大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いて入れてください。
- ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。
- 車の中など高温になる場所には放置しないでください。
- 倒れたり、落としたり、ぶついたり、製品に強い振動、衝撃を与えないでください。ぶついたり、強い振動を与えると表面が凹み、保温・保冷効果の低下や濡れの原因になります。
- 飲食物を入れた状態で逆さまにしないでください。
- ふたキャップを確実に閉めてから使用してください。飲食物が漏れるおそれがあります。
- ふたキャップを閉める際は、パッキンが正しく取り付けられていることを3ページの図を参考に確認してください。
- バッグなどに入れる場合は、必ず濡れがないことを確認した上で本体を縦置きにしてください。また携帯電話、デジタルカメラ、パソコンなどの精密機器とは絶対に一緒に持ち運ばないでください。
- 製品の構造上、周囲の温度が高いときにふたキャップに水滴がつく場合があります。ご注意ください。
- 運転しながらのご使用は大変危険です。絶対に使用しないでください。
- 車中や屋外など、傾いたり転倒したりする可能性のある場所では絶対に使用しないでください。
- 熱いやかんなどを飲み口に当てないでください。
- 絶対に修理、分解、改造はおこなわないでください。
- 電子レンジで加熱しないでください。

2

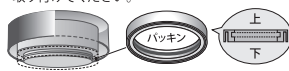
- 冷凍庫には入れないでください。
- ドライアイス、炭酸飲料、アルコール類などは絶対に入れないでください。
- 飲食物を入れた状態で長時間放置しないでください。
- 腐敗や発酵によりガスが発生して内圧が上昇し、ふたキャップが開きづらくなったり、飛び出し、けがやものを汚す原因になります。
- 飲食物を入れた状態でふたキャップが開かなくなった場合、製品を温めたりはしないでください。内圧の上昇とともにふたキャップの剛性が弱くなり、ふたキャップが飛び出したり飲食物が噴き出するなど、けがやものを汚す原因になります。
- 飲食物はできるだけ早く一度にお召し上がりください。
- 腐敗しやすい、生ものや乳製品などは入れないでください。
- 飲食物を入れた状態でふたキャップが開かない場合は、製品を縦置きにしてしっかりと固定し、オープナーなどの専用の道具を使って開けてください。
- 本体やふたキャップ、パッキンににおいが残る場合や、色移りする場合がありますが、品質上問題はありません。
- 使用により本体の塗装は徐々に劣化するおそれがあります。

ふたキャップパッキン・飲み口カバーの取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。
お手入れなどでパッキンを取りはずした後は、正しく取り付けてください。

ふたキャップパッキン

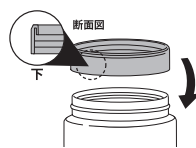
- 先端が細く柔らかい棒(つまようじなど)を差し込んではずしてください。パッキンが破損しないように注意してください。
- パッキンが破損するおそれがあります。
- パッキンが溝がある方を下側にして確実に取り付けてください。



3

飲み口カバーについて

- 飲み口カバーを取り付ける際は、図のように上下の向きに注意して取り付けてください。



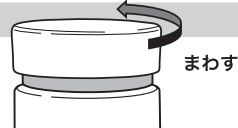
ご使用方法

ご使用の前に

- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。不具合があった場合、修理・分解はせずにご使用をおやめください。

1 ふたキャップをはずす

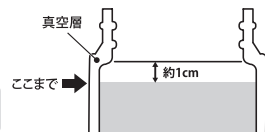
ふたキャップを矢印の方向にまわしてはずします。



2 飲食物を入れる

飲食物の量は右図▶部までにしてください。入れすぎると、ふたキャップを開めた時に内容物があふれる場合があります。

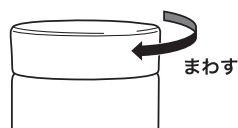
* 本体に少量の熱湯・冷水を入れ、1分程度おきますと、保温・保冷に効果的です。



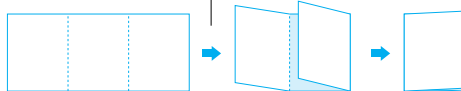
3 ふたキャップを閉める

ふたキャップを矢印の方向にまわして閉めてください。

* 熱い飲食物を入れた場合は、数十秒おいてからふたキャップをしてください。ふたキャップが開きにくくなった場合は、やけどに十分注意して必ず本体を立てた状態で布(タオルなど)をあてて、ゆっくりと開けてください。



4



超軽量フードポット
ARFP-301/351/541
取扱説明書“裏面”版下

w245×h95mm
色：1C
'25.09.25